

【技術の名称】 東京鉄鋼式梁貫通型柱 RC 梁 S ハイブリッド構法 —ふさぎ板を用いた梁貫通型柱RC梁S接合部構法 —	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 24-01 号 性能証明発効日：2024 年 4 月 17 日
	【取得者】 東京鉄鋼株式会社

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート (RC) 柱と鉄骨 (S) 梁との接合部を構築する構法である。本技術による柱梁接合部は、S 梁が柱梁接合部を貫通する形式 (梁貫通形式) で、ふさぎ板で覆われている。なお、構造実験で性能を確認した上で支圧板をふさぎ板で代用するディテールとしており、ふさぎ板により柱梁接合部コンクリートに対する拘束力を高め、設計で要求される柱梁接合部の終局耐力を確保している。

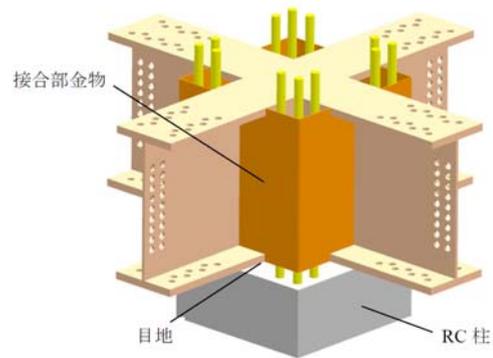


図-1 一般階における柱梁接合部形式のイメージ

【技術開発の趣旨】

これまでに RC 柱と S 梁からなるハイブリッド構造を用いた架構について、非梁貫通形式の建築技術性能証明 (第 18-21 号改 1) を取得してきた。適用する建築物の規模や種類、設計条件や建築資材の入手性などの条件により、幅広い選択を可能とするために梁貫通形式の構法を開発した。

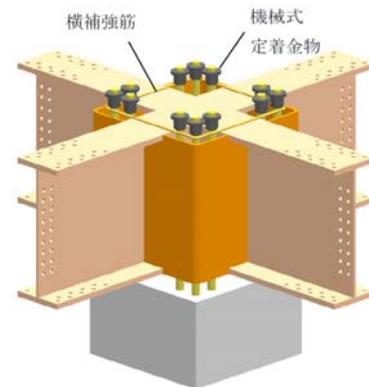


図-2 最上階における柱梁接合部形式のイメージ

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「東京鉄鋼式梁貫通型柱 RC 梁 S ハイブリッド構法 設計施工指針」に従って設計・施工された柱 RC 梁 S 接合部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れ等の損傷を起こさず、短期荷重時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさない。また、同指針に従い求めた終局せん断耐力以上または終局支圧耐力以上の耐力を有する。

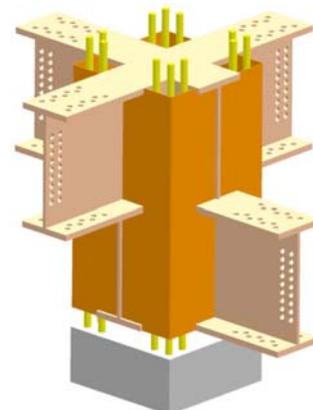


図-3 段差梁における柱梁接合部形式のイメージ

【本技術の問合せ先】

東京鉄鋼株式会社 担当者：会田 知章

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング 11 階

E-mail : haruaki_aida@tokyotekko.co.jp

TEL : 0285-28-1771 FAX : 0285-28-1717